

ひとりひとりの子どもを大切にしたい学校歯科保健をもとめる陳情書

2018年5月21日

霧島市市議会議長
中村正人様

陳情者住所 霧島市溝辺町麓 1322-7
陳情者名前 杉 木 壽 子

平素より学校保健の向上と発展のために、ご尽力いただき感謝申し上げます。

学校現場からの報告によりますと、近年、気管支ぜん息や食物アレルギー等のアレルギー疾患の子どもたちが増え、さらに命にかかわるアナフィラキシーショック等への緊急対応も迫られています。また平成27年度から子どもの歯を守るということで、学校での集団フッ化物洗口が一部で始まりました。学校で集団フッ化物洗口をすとなれば、様々な健康問題や安心、安全の面からも以下のような課題が考えられます。

- 薬物を口の中に含ませることは、誤飲等の事故がないとは言えず、医療者のいない教室での集団実施は大変危険であること。
- アレルギー体質の子どももいる中で、ひとりひとりの子どもの健康状態への配慮や安全の保障が難しいこと。
- ひどいむし歯の子にはフッ化物洗口液は口の中に入れられない、まずは歯科医で治療をする機会をつくるべきということ。

以上のような課題から、下記の事項を陳情いたします。

陳 情 事 項

1. すべての子どもたちが、医療費の負担なく受診できるような地域歯科医療の施策を構築すること。
2. 学校現場における集団フッ化物洗口の導入を見直すこと。

以上のことにつきまして、署名を添えて提出いたしますので、趣旨にご賛同くださいますようお願いいたします。